

令和元年度 石狩地区教育経営研究会

I 運 営

- | | | |
|-------|--------------------------------|------------------------|
| 1 目 的 | 教育経営の充実を期し、今日的教育諸課題について研究を深める。 | |
| 2 主 催 | 北海道小学校長会 北海道中学校長会 石狩管内小中学校長会 | |
| 3 日 時 | 令和元年10月8日(火) 13:30~16:00 | |
| 4 会 場 | 石狩教育研修センター(北広島市共栄315-5) | |
| 5 日 程 | (1) 開会式 | 13:30~13:50 |
| | ①主催者挨拶 | 石狩管内小中学校長会長 出村 好孝 |
| | ②来賓挨拶 | 北海道教育庁石狩教育局長 堀本 厚 様 |
| | | 石狩管内教育長会副会長 吉田 孝志 様 |
| | ③講師団代表挨拶 | 北海道中学校長会 事務局次長 鎌田 浩志 様 |
| | ④講師紹介 | 石狩管内小中学校長会経営部 濱本 賢一 |
| | (2) 全国・全道情勢報告並びに質疑応答 | 13:50~14:30 |
| | | 北海道中学校長会 事務局次長 鎌田 浩志 様 |
| | (3) 道小・道中からの回答 | 14:30~14:50 |
| | | 北海道小学校長会 幹 事 山村 健史 様 |
| | | 北海道中学校長会 幹 事 佐藤 誠 様 |
| | (4) 休 憩 | 14:50~15:00 |
| | (5) 道小・道中への質疑応答並びに要望 | 15:00~15:15 |
| | (6) 実態・課題交流 | 15:15~15:50 |
| | (7) 閉会式 | 15:50~16:00 |
| | ①主催者挨拶 | 石狩管内小中学校長会副会長 三浦 利章 |
| | ②連絡 | |
| 6 司 会 | 石狩管内小中学校長会経営部 | 吉田 篤弘 |
| 7 記 録 | 石狩管内小中学校長会経営部 | 前川 茂 |

II 研究協議

1 全国・全道情勢報告

【北海道小学校長会・中学校長会の活動紹介】

- ①今年度、北海道小学校長会は結成62年目、北海道中学校会は結成72年目を迎える。
- ②5月に道小・道中それぞれ総会・研修会を開催する。理事研修会は、執行機関で道小は年5回、道中は年6回開催され、会務の進捗状況の確認や全連小・全日中から発信される教育情勢の研修も行われる。
- ③全国連合小学校長会総会には、北海道からは理事8名、代議員10名の18名が出席する。全日本中学校長会総会には、道中からは、全日中副会長・常任理事として会長が、理事として事務局長と副会長2名が派遣され、12名の代議員とともに参加している。
- ④7月には小中合同研修会・合同学習会を開催し、道小と道中の活動計画の交流や地区別教育経営研究会における質問や要望事項への回答をするための学習を行う。
- ⑤9月には、例年、道小・道中の活動で最大の柱となっている教育研究大会を開催しているが、昨年度は、全連小が北海道大会であったため、道中帯広大会が開催された。
- ⑥10月には、全連小、全日中の全国研究大会が開催される。昨年度は、全連小・道小北海道・函館大会、全日中は秋田大会であった。
- ⑦北海道教育委員会との関係は、毎年、道小・道中・道公教の3者で「北海道文教施策・予算案策定に関する要望書」を5月に提出している。7月にその回答があり、8月に文教施策懇談会・各課懇談会を道庁庁舎内で開催する。教育委員会の方々と話し合うことができる貴重な場となっている。
- ⑧組織の運営については、道小は「企画研修委員会」で組織の在り方を検討している。5ブロックと

札幌の代表及び事務局役員で、年5回開催する予定である。道中は、平成29年度、新たな組織体制・運営に伴う規約改正を行った。札幌を含めた6ブロックで活動している。新組織3年目となる今年度の会長の選出については、札幌を除く副会長5名の互選により選出され、オール北海道体制で活動を進めている。

Ⅲ 石狩地区の質問に対する道小・道中からの回答

【道小から】

- 1、特別支援な支援を必要とする児童・生徒が通常学級にも多数在籍する現状から、特別支援学級担任に対する手当（調整額）を通常級担任にも拡大する必要性について
- 2、管理職、教員の給与面に関する待遇改善について
- 3、人間ドックについて

【道中から】

- 1、働き方改革について
- 2、期限付や産休代替教諭について

Ⅳ 実態・課題交流

【江別市】

- ・働き方改革に関連し、校務支援システムを一部している。市内的に校務支援システムの導入を検討している。
- ・江別市では、えべつ型コミュニティ・スクールを取り入れており、規約の改正・整備を行い、小中合同開催を可能にしている。

【千歳市】

- ・働き方改革に関して、タイムカード、留守番電話のモデル校を設置し、課題を整理し、今後、各学校で実施する予定である。
- ・コミュニティ・スクールについて、24校中14校が学校運営協議会を設置し、CSとなった。

【恵庭市】

- ・働き方改革について、地域や保護者の理解が徐々に進んでいる。
- ・コミュニティ・スクールについて、現在、13校中6校で導入している。
- ・中学校の道徳について、チームで道徳授業を行うという観点で、校内研究を進めている。

【北広島市】

- ・働き方改革について、ICカードとC4thによる勤務管理の徹底と勤務状況の把握などに取組んでいる。管理職、教職員には働き方改革の機運や意識が醸成されてきている。
- ・コミュニティ・スクールについて、2中学校区がモデル地区となり準備検討委員会を開催しており西部中学校区のCSを参考としながら、地域とともに学校づくりを進めていく。

【石狩市】

- ・働き方改革について、4月より「転送電話システム」の導入、C4thによる勤退管理を開始しており、アンケートで「職員の勤務時間に対する意識が高くなった」という回答が多くなっている。
- ・コミュニティ・スクールについて、次年度開校する石狩八幡小学校と義務教育学校「厚田学園」をモデルとして、令和3年度から市内すべての学校で導入する予定となっている。

【当別町】

- ・働き方改革について、校務支援システムの積極的活用による校務の効率化や教育の情報化・活用が進んでいる。
- ・中学校の道徳について、昨年度までに全体計画や指導計画等作成し、今年度より、新学習指導要領に則り実施している。

【新篠津村】

- ・働き方改革について、村教委による環境整備、学校サポート体制の充実として、スーパー学習支援員の配置などが行われている。
- ・小学校プログラミング学習について、理論研修や実技研修を行いながら指導の充実を図っている。